

社会に ぐんぐんと 強くなる

小学 5 年生

別冊解答

★答え合わせは、1つずついねいに行いましょう。

★「ポイント」は、問題をとくときの考え方や注意点などです。

★まちがえた問題の「ポイント」は、特によく読んで、もう一度問題をといてみましょう。

〔問題で答えを書く()の中に答えの一部があらかじめ入っているものについては、そのことばもふくめて答えとして示しています。〔例〕(島)→南鳥島〕

1 さまざまな自然とくらし① P4・5

1 ①ユーラシア大陸 ②オーストラリア大陸
③太平洋 ④インド洋

2 (1)ユーラシア大陸 (2)アフリカ大陸
(3)アインド洋 ①太平洋 ②大西洋
(4)海

3 (1)国名…中華人民共和国, 記号…㉠
(2)国名…エジプト, 記号…㉡
(3)国名…アメリカ合衆国, 記号…㉢
(4)国名…オーストラリア, 記号…㉣

ポイント

1 ① ユーラシアとは、大陸にある2つの地域ちいきのヨーロッパ(ユーロ)とアジアを合わせたことばです。六大陸の中で最も大きく、全陸地の37%をしめています。

③ 太平洋は、地球のすべての陸地を合わせた面積より大きくて、地球全体の約3分の1にあたります。

2 (1) 日本は、ユーラシア大陸の東側にあり、太平洋の西に位置しています。

(4) 地球は、海洋と陸地のわりあいが7:3で、「水の星」ともよばれています。

2 さまざまな自然とくらし② P6・7

1 (1)西 (2)北 (3)①赤道 ②経線 ③緯線

2 (1)㉠大韓民国 ㉡中華人民共和国
③アメリカ合衆国 ㉢赤道
㉣経線 ㉤太平洋

(2)北緯

3 (1)①太平洋 ②大韓民国
(2)東 (3)緯線 (4)東経

ポイント

1 (3) 地球上の位置は、緯度と経度の組み合わせによって表すことができます。緯度は南北の位置しめを示し、経度は東西の位置を示します。

2 (1) 九州地方などからは大韓民国が、沖縄きゅうしゅうからは中華人民共和国が、北海道からはロシア連邦れんぽうが、それぞれ最も近い国になります。

3 (4) 経線は、イギリスのロンドンを通る経線を0度として、そこから東へ180度までのはんがとうけいが東経、西へ180度までのはんがせいけいが西経です。日本は東経にあります。

3 さまざまな自然とくらし③ P8・9

1 (1)本州 (2)太平洋 (3)北方領土

- (4)東のはし…南鳥島
南のはし…沖ノ鳥島
西のはし…与那国島

- 2 ㉞ 択捉島 ㉟ 南鳥島 ㊱ 沖ノ鳥島
㊲ 与那国島 ㊳ 太平洋 ㊴ 日本海

- 3 (1)A 択捉島 B 与那国島
(2)領土…北方領土 国…ロシア連邦(ロシア)
(3)北海道, 四国, 九州 (順序はちがってもよい。)
(4)㊵ オホーツク海 ㊶ 太平洋 ㊷ 日本海
㊸ 東シナ海

ポイント

- 1 (4) 南鳥島は、南のはしではなく、東のはしにあたる島であることに注意しましょう。
2 ㊱の沖ノ鳥島は、岩だけの無人島ですが、波にけずられて消失してしまうと、日本の貴重な200海里水域(排他的経済水域)が失われてしまいます。そこで、多くの費用をかけて、島の周囲をコンクリートブロックで固める工事が行われました。
3 (3) 本州, 北海道, 九州, 四国の順で面積が大きくなり、このほかで最も大きな島は択捉島です。

4 さまざまな自然とくらし④ P10・11

- 1 (1)山(山の地形) (2)山脈 (3)㉞
2 (1)㊲山脈 ㊶平野 (2)約4分の3 (3)盆地
(4)流れが急, 短い(順序はちがってもよい。)
3 (1)①4 ②3 (2)平地
(3)平野 (4)日本の屋根 (5)①短く ②急

ポイント

- 1 (3) 飛騨山脈は北アルプス, 木曾山脈は中央アルプス, 赤石山脈は南アルプスとよばれ、まとめて日本アルプス(日本の屋根)とよばれます。
2 (4) 日本の川は、外国の川とくらべると、川の流れははじめから河口(海)までのきよりがたいへん短いことがわかります。
3 (3) 日本の平野の大部分は、川的作用によって低地に砂や土が積もってできたものです。

5 さまざまな自然とくらし⑤ P12・13

- 1 (1)火山灰 (2)低い (3)開たく団 (4)観光業
2 (1)①すずしい ②高原 ③大都市
④ねだん (2)野辺山高原
3 (1)開たく団
(2)夏でもすずしい気候を利用した。
(3)㉞観光業 ㉟温泉

ポイント

- 1 (1) 長野県と群馬県の境にある浅間山は古くからたびたびふん火をくり返し、あたり一帯によう岩と火山灰を積もらせました。
2 (1)③④ 嬬恋村のある群馬県は、キャベツの生産量は全国第1位(2017年)。時期をずらして出荷しているのが高値で取り引きされていて、その時期に首都圏で消費される多くをしめています。

6 さまざまな自然とくらし⑥ P14・15

- 1 (1)森林 (2)畑 (3)わき水 (4)林業
2 (1)そば, こんにやく (順序はちがってもよい。)
(2)①石積み ②にもたてられている
3 (1)①かずら橋 ②人の手 ③林業
(2)移動はん売車
(3)高れい者のわりあいが増えた。

ポイント

- 2 (1) そばやこんにやくは、それほど人手をかせずにつくることのできる農作物です。
3 (1)① かずら橋はめずらしいので、観光で多くの人がおとずれます。
(2) 移動はん売車で働く人もお年寄りが多く、これからのことが心配されています。
(3) 山地では、高れい化と人口が減り続けるかそが大きな問題になっています。

7 さまざまな自然とくらし⑦ P16・17

- 1 (1)長良川 (2)輪中
2 (1)①水屋 ②ひなん場所 (2)排水機場
(3)稲(米)
3 (1)㉞海面 ㉟こう水 (2)木曾川
(3)堤防に囲まれた低地

ポイント

- 1 堤防^{ていぼう}をつくるなどで、水害^{みずがい}を防ぎ、水をくらしに役立てることを治水^{すいず}といいます。治水は古くから行われており、戦国大名の武田信玄^{たけだしんげん}がつくった信玄堤^{つみ}などが有名です。
- 2(2) 排水^{はいすい}するだけでなく、揚水^{ようすい}機場とパイプラインができたことにより、雨水を田畑に利用できるようになりました。
- 3(1) なだれは、山のしゃ面に積もった雪が下方にすべり落ちる現象^{げんしょう}です。

8 さまざまな自然とくらし⑧ P18・19

- 1 ①大きい ②晴れ ③雨 ④梅雨
- 2(1)A冬 B夏 (2)太平洋側 (3)日本海側
- 3(1)台風 (2)①南北 ②季節風
(3)梅雨 (4)ア太平洋側 ①日本海側

ポイント

- 1 ④ 北海道には、梅雨^{つゆ}としくみのことなるえぞ梅雨があります。
- 2(1) Aは、ユーラシア大陸側からふいてくる冬の北西季節風を表し、Bは、太平洋側からふく夏の南東季節風をあらわしています。
- 3(1) 台風は、赤道^{せきどう}付近で発生する熱帯低気圧^{ねったいていきあつ}で、強い風や大雨をとまいません。とくに沖縄県^{きゅうしゅう}や九州南部^{しゅうく}、四国などは、こう水やがけくずれなど、しばしば台風のひ害を受けます。

9 さまざまな自然とくらし⑨ P20・21

- 1 ㊦北海道 ①日本海側 ⑤太平洋側
㊧中央高地 ㊨瀬戸内海 ㊩南西諸島
- 2 A中央高地の気候 B北海道の気候
C日本海側の気候 D南西諸島の気候
E瀬戸内海の気候 F太平洋側の気候
- 3(1)①記号…㊦, 気候区…瀬戸内海の気候
②記号…㊨, 気候区…南西諸島の気候
③記号…㊦, 気候区…北海道の気候
(2)㊩ (3)太平洋側の気候

ポイント

- 1 ㊧と㊨の気候区分は、年間の降水量^{こうすいりょう}が少ないとこは似ていますが、気温にちがいが

があります。

- 3(2) 南から北へ流れる㊩が、暖流^{だんりゅう}になります。㊨は寒流です。

10 さまざまな自然とくらし⑩ P22・23

- 1 ①沖縄島 ②台風
- 2(1)記号…㊤ 名前…石垣
(2)広い戸 (3)Aの家…㊦ Bの家…㊧
- 3(1)沖縄島 (2)梅雨, 台風^{じょうじよ}(順序はちがってもよい。)
(3)土地が水をたくわえられない
(4)貯水タンク

ポイント

- 1 おきなわ 沖縄は、台風の通り道に位置しています。
- 2(1) 屋根を低くしたり、かわらを(しっくいなどで)固定するのも、台風の強風^{せな}に備えたつくりです。

11 さまざまな自然とくらし⑪ P24・25

- 1(1)さとうきび (2)航空機 (3)アメリカ
(4)琉球王国 (5)観光業
- 2(1)Aパイナップル Bきく
(2)あたたかい (3)そう音や事故
- 3(1)琉球王国
(2)耕地^{けい}がせまい, 出荷先^{しゅつじょう}が遠い。(順序はちがってもよい。)
(3)観光業 (4)赤土

ポイント

- 1(2) きくやランなどの草花や野菜の生産量^{せいさんりょう}が増えており、航空機^{こうくうき}を使って東京や大阪などに運ばれます。
- 2(3) 日本にあるアメリカ軍の基地^{きち}の総面積^{そうめんせき}の約70%が沖縄県にあり、そのほとんどが沖縄島に集中しています。

12 さまざまな自然とくらし⑫ P26・27

- 1(1)ア北海道 ①新潟県
(2)二重のまど, 灯油タンク, 角度の急な屋根^{いっしよ}(順序はちがってもよい。)
- 2(1)①㊦, ㊩, ㊨(順序はちがってもよい。)
②㊦ ③㊤
(2)ロードヒーティング

- 3(1)㉒ (2)㉑ まど ㉒かべ (3)救急車

ポイント

1(1) 新潟県を中心とする北陸地方は、北西の季節風のえいきょうの強い日本海側の気候で、世界有数のごう雪地帯です。

2(1)(2) 雪の多い地域では、大雪のため家がつぶれたり、交通機関が止まったりする被害(雪害)に備えて、さまざまなくふうや備えをしています。

3(1) 北海道は冬の気温はかなり下がりますが、新潟県ほど雪は多くありません。

13 さまざまな自然とくらし⑬ P28・29

1(1)米づくり (2)雪 (3)らく農 (4)食料品
(5)絹織物

2(1)㉑米づくり ㉒じゃがいもや小麦
㉓らく農

(2)米づくり (3)湿度

3(1)らく農

(2)じゃがいも、小麦(順序はちがってもよい。)

(3)食料品工業 (4)米

ポイント

1(2) 近年、雪の多い地方では、雪を積極的に利用する「利雪」や雪と親しむ「親雪」という考え方が広まり、雪まつりのほか、スキーやスノーボードなどのスポーツの大会を開いています。

2(1)(2) 北海道の米の生産量は全国第2位で、第1位は新潟県です(2018年)。

3(2) とくに十勝平野では畑作がさかんです。北海道は、じゃがいも、小麦、かぼちゃ、たまねぎ、にんじん、だいずなど、多くの作物で全国一の生産量をあげています。

14 単元のまとめ P30・31

1(1)ユーラシア大陸 (2)大西洋

(3)㉑サウジアラビア ㉒オーストラリア
㉓中華人民共和国(中国)

2(1)㉒中央高地の気候 ㉑日本海側の気候
㉓太平洋側の気候

(2)季節風 (3)北と南の気温差が大きい。

- 3(1)山脈 (2)平野 (3)日本アルプス

(4)流れが急で、短い。

4(1)㉑㉒ ㉓㉔ (2)広い戸

(3)㉑さとうきび ㉒牛乳やバター

(4)㉒択捉島 ㉑沖ノ鳥島

ポイント

2(3) 台風は、赤道付近の海水温度が高くなる夏から秋にかけて多く発生します。

4(4) 南鳥島と沖ノ鳥島は名前が似ているので注意しましょう。

15 農業のさかんな地域① P34・35

1(1)田 (2)夏に暑く、雨が多い

(3)合っている (4)東北地方

2(1)東北地方

(2)㉒横手盆地 ㉑庄内平野 ㉓越後平野

(3)半分以上

3(1)田(水田) (2)㉑夏 ㉒水

(3)㉑庄内平野 ㉒越後平野 ㉓横手盆地

ポイント

1(1) 日本の耕地面積のうちわけでは、田が全体の半分以上をしめ、畑はおよそ4分の1となっています。

(4) 北海道地方や東北地方、北陸地方は、冬に雪が多いため、夏の米づくりに力を入れる水田単作地帯となっており、とくに米が多く生産されています。

2(1) 東北地方だけで、日本全体の米の生産量のおよそ4分の1以上をしめています。

(2) 横手盆地には雄物川、庄内平野には最上川、越後平野には信濃川という大きな川が流れ、水田が開けています。

3(1) 田または水田ということばが入ります。

16 農業のさかんな地域② P36・37

1(1)㉑山(山地) ㉒川

㉓平野(広くて平らな土地)

(2)森林

2(1)㉒

(2)㉑に〇 (3)㉑長 ㉒高

3(1)㉑夏 ㉒高く

(2)①川 ②山(山地)

(3)冷害

ポイント

1(1) 水をたくわえる山(山地)と、豊かな水を運ぶ川がある平野(広くて平らな土地)が、稲の生育に合った土地です。

2(1) ③の宮古は、東北地方の太平洋側にありますが、この地域では初夏に「やませ」とよばれる、しめった冷たい北東の風がふいて、低温が続く、稲などの農作物が育たなくなるひ害(冷害)をもたらすことがあります。

(2) 夏の日照時間が長く、気温の高い③のほう米づくりに向いています。最近では、種もみを直接まいて、米づくりを効率的に行う研究も進んでいます

3(1) 酒田市は、最上川の河口にある都市で、300年以上前から庄内平野の米が集められ、各地に出荷される港町として栄えました。

17 農業のさかんな地域③

P38・39

1①田おこし ②稲かり・だっこく

③種もみを選ぶ ④しろかき ⑤中ぼし

2(1)①稲かり・だっこく ②しろかき

③農薬をまく ④田おこし ⑤田植え

(2)①5 ②2 ③4 ④1 ⑤3

3(1)種もみ (2)田をたがやす。

(3)しろかき (4)だっこく

ポイント

1 最近では種もみを直接田にまいて、米づくりを効率的に行う研究も進んでいます。

2(2) 庄内平野では、米づくりは3月の種もみを選ぶ作業から始まり、9月の稲かりまで続きます。

3(2) 田おこしとは、冬のあいだにかたくなった土を深くたがやす作業です。

(3) 田に水を入れたあと、しろかきをして整地し、田植えに備えます。

18 農業のさかんな地域④

P40・41

1(1)水の深さ (2)中ぼし

(3)大型の農業機械

2(1)③

(2)①農業機械 ②短く (3)用水路

3(1)①あいも ②農薬 ③肥料

(2)たい肥

ポイント

1(1) 稲は寒さに弱いので、気温が水温より低いときは、水を深く入れて水温で稲を守ります。

(2) 6~7月初めごろに、田の水をすっかりぬいて中ぼしをします。

2(1) ①に見られるさまざまな形の耕地が、③では、耕地整理によってきちんとした長方形の田に整えられています。

(2) 大型の農業機械が使われるようになったことで、米づくりなどの農作業にかかる時間は、この40年間でおよそ3分の1になりました。

3(2) たい肥を使うと、稲の生長がよくなり、土がやわらかくなります。

19 農業のさかんな地域⑤

P42・43

1(1)トラクター (2)共同で利用

2(1)①増えている ②トラクター ③稲かり

(2)農業機械

3(1)組合 (2)コンバイン (3)品種改良

ポイント

1(1) トラクターは、しろかきにも使われます。

(2) 農業機械の共同入・使用などを共同で行うことは、農家の生産性を高めるうえでたいへん重要です。

2(1) 日本は外国に比べて農業の機械化がおくられていましたが、1970年ごろから進みました。

3(2) コンバインは、稲かりからだっこく、ふくろづめまでをいっしょに行う機械です。

(3) 品種改良は、寒さや病気に強い、しゅうかく量が多い、味がよいなど、すぐれた品種をつくるために行われます。

- 1(1)出荷まで米を保管するしせつ
 (2)もみ (3)いつでも出荷する
- 2(1)カントリーエレベーター
 (2)㉞かんそう ㉟保管 ㊱玄米
- 3(1)利用する農家が協力して
 (2)米のおいしさを保つため。
 (3)玄米にして

ポイント

- 1(1) カントリーエレベーターは、米や小麦などのこくもつを保管するための大きな農業倉庫のことで、中に農業用エレベーターがとりつけられています。
- 2(1) カントリーエレベーターでは、温度や湿度を一定に保って、しゅうかく後のもみがらのついたままの米(もみ)を保管しています。
- 3(3) 出荷するときは、もみからもみがらを取りのぞいて玄米にし、ふくろにつめて各地に送り出します。

- 1(1)①あまるように ②減って ③輸入
 (2)①転作 ②休耕
- 2(1)①減って(減少して)
 ②減って(減少して) ③65
 (2)転作
- 3(1)①転作 ②休耕
 (2)米があまるようになったから。
 (3)㊲に〇

ポイント

- 1(1)① 米の消費量が減ってきた理由としては、食生活の洋風化でパン食が増えたこと、日本人がいろいろな食品を食べるようになってきたことなどがあります。
- 2(1) 約50年間で農家の数が4分の1近くになり、農業で働く人の数も大きく減りました。これは、農業以外の産業が発達したことで、わかい人を中心に、人口が都市部へと移動したためです。

- 3(2) 国の政さくでは、1960年代までは米の生産量の増加をしょうれいしていましたが、その後、米の生産調整へと変わり、1995年に米の一部輸入が始まると、法りつをあらため、米の生産・はん売は農家の自主性にまかせるようになりました。

- 1(1)大都市に近いところ (2)①夏 ②冬
 (3)①りんご ②もも ③みかん
- 2(1)Aりんご Bみかん
 (2)冬でもあたたかい気候
 (3)キャベツ、レタス(順序はちがってもよい。)
- 3(1)近こう農業
 (2)①野菜 ②夏 ③ビニールハウス
 ④早づくり
 (3)そく成さいばい

ポイント

- 1(2) 季節をずらして生産し、市場に入荷量の少ない時期に出荷すると、高く売ることができます。
- 2(3) 長野県や岩手県、群馬県などの内陸部の高原では、夏でもすずしい気候を利用して、キャベツ・レタス・はくさいなどの高原野菜づくりがさかんです。
- 3(1) 大都市の周辺では、とれたての野菜を新せんのまま出荷することができ、運送費も安くすむので、近こう農業がさかんです。

- 1(1)畜産
 (2)①お金がかかる ②牧草地 ③輸入
- 2(1)乳牛、肉牛(順序はちがってもよい。)
 (2)鹿児島県 (3)つくりにくい (4)乳牛(牛)
- 3(1)①乳牛 ②ぶた
 (2)㊳飼料 ㊴肉や乳製品 (3)九州地方南部

ポイント

- 1(1) 50年ほど前から日本人の食生活が大きく変わりはじめ、肉類や牛乳、乳製品をとる機会が増えてきました。
- (2) 日本の畜産は、家畜の飼料となるとうも

ろこしやだいで、麦類などのほとんどを輸入にたよっています。

2(3) 北海道の根釧台地は、夏の気温が低く濃霧が発生するため、農作物のさいばいに適していませんが、戦後、国の支えんなどもあってらく農地帯となりました。また、鹿児島県から宮崎県にかけては、農地に適さないシラス台地が広がっています。

3(3) 北海道や九州地方南部の鹿児島県・宮崎県は、家畜の飼育がさかんです。

24 水産業のさかんな地域① P52・53

1(1)大陸だな (2)海流 (3)寒流 (4)暖流

2(1)A寒流 B暖流 (2)B

(3)暖流…黒潮, 対馬海流(順序はちがってもよい。)

寒流…親潮, リマン海流(順序はちがってもよい。)

(4)プランクトン

3(1)大陸だな

(2)①暖流 ②寒流 ③暖流 ④寒流

(3)①たらやさけ ②かつおやまぐろ

③まじり合う

ポイント

1(1) 陸地の周囲に広がる大陸だなには、川から養分が流れこむため、プランクトンが豊富で、よい漁場になっています。

2(2) 暖流の黒潮(日本海流)のってくる回遊魚のかつおは、四国や九州の沖合いで多くとれます。

25 水産業のさかんな地域② P54・55

1(1)沿岸漁業, 沖合漁業, 遠洋漁業(順序はちがってもよい。)

(2)養しよく漁業, さいばい漁業(順序はちがってもよい。)

2(1)①遠洋漁業 ②沖合漁業 ③沿岸漁業

(2)①減っている ②増えている

3(1)沖合漁業

(2)いけすなどのしせつ

ポイント

2(2) 1970年代後半から、遠洋漁業にかわって沖合漁業が生産量をのばしてきましたが、

近海でのいわしの減少などが原因で、近年は大きく落ちこんできています。沿岸漁業ものびなやんでおり、養しよく漁業はゆるやかに増減しています。

3(2) 養しよく漁業は、ほかの漁業にくらべて生産量は安定していますが、海水のよごれからおこる赤潮のひ害を受けやすく、えさ代が高い、魚が食べ残したえさで水がよごれる、などの問題があります。

26 水産業のさかんな地域③ P56・57

1①まきあみ漁 ②定置あみ漁

③底引きあみ漁 ④一本づり漁

⑤いかつり漁

2(1)Aイ Bウ Cア Dエ

(2)A底引きあみ漁 B一本づり漁

C定置あみ漁 Dまきあみ漁

3(1)魚の群れをさがす。

(2)①定置あみ漁 ②沿岸漁業 ③明かり

ポイント

1 いわしやあじはまきあみ漁、さんまはぼううけあみ漁などでとります。まぐろは、針とえさをたくさん下げた長いなわを海に流してつりあげます。このまぐろのとり方をはえなわ漁といいます。

2(2) Aの底引きあみ漁は、海底近くにいるひらめやかれいなどをとる漁法ですが、小さいものまで根こそぎとってしまうことから、乱かくが問題となっています。

3(1) 魚群探知機から超音波を出して、魚の群れのいる場所をみつけたり、人工衛星から海水の流れや温度についての情報を得たりしています。

27 水産業のさかんな地域④ P58・59

1(1)養しよく漁業 (2)さいばい漁業

2(1)いけす

(2)A養しよく漁業 Bさいばい漁業

(3)アB イA

3(1)Aさいばい漁業 B養しよく漁業

(2)Aウ, エ(順序はちがってもよい。)

②ア, ①(順序はちがってもよい。)

(3)病気の対応

ポイント

- ① 養しよく漁業では、稚魚^{ちぎょ}を成長するまでいけすの中で育てますが、さいばい漁業では稚魚をあるていどの大きさまで育ててから海や川に放流し、大きくなってからとります。
- ②(3) 一定の大きさより小さいものは海にもどしたり、あみの目を大きくして小さいものをとらないようにしたりして、くふうしています。

28 水産業のさかんな地域⑤ P60・61

- ①(1)①すり身 ②近く
(2)①航空機 ②フェリー ③トラック
- ②(1)高速道路
(2)魚の新せんさを保ちながら運ぶこと。
(3)①航空機 ②フェリー
- ③(1)新せんさを保つため。 (2)保冷トラック
(3)ねだんが高く

ポイント

- ①(2) 新せんさを保つために、冷やしたまま産地から消費者(家庭)までとどけるしくみをコールドチェーンといいます。
- ②(3) 水産物は新せんさが最も大切なため、高級魚は、航空機を使ってとれた日のうちに運ばれることもあります。
- ③(2) 保冷トラックのほかに、海水を入れた氷そうを荷台に備え、魚を生きたまま運ぶ専用のトラックもあります。

29 水産業のさかんな地域⑥ P62・63

- ①(1)生産量 (2)2000年 (3)冷とう技術
②①減っている ②200海里 ③遠洋漁業
③(1)200海里水域(排他的経済水域) (2)減ってきた (3)遠洋漁業 (4)①せまく ②不安定な

ポイント

- ①(1)(2) 生産量が減るいっぽう、まぐろなど国際的に管理されている魚種は魚が制限されるようになり、輸入量も減っています。

②②③ 200海里水域^{かいりすいいきも}が設けられたため、日本の遠洋漁業の生産量は大きく減りました。

③(4) 漁業人口は年々減っていて、特にわかい人のわりあい^{わりあ}が低いことが特ちょうです。

30 これからの食料生産① P64・65

- ①(1)①食料消費量 ②国内 (2)低い
(3)小麦, だいず(順序はちがってもよい。)
- ②(1)食料自給率 (2)⑥小麦 ④だいず
(3)①輸入 ②増えている
- ③(1)食料自給率
(2)小麦, だいず(順序はちがってもよい。)
(3)ア働く人 ④減少 食品ロス

ポイント

- ①(2) 現在日本が国内の生産だけでほぼまかなえる(食料自給率が100%近い)のは、米とたまごぐらいです。
- (3) 小麦はパン、めん類、パスタなど、だいずはしょうゆ、みそ、とうふなどの原料になります。日本の食生活に欠かせない食品の多くが、外国産の原料にたよっています。
- ②(3) 外国産の食料は、日本のものよりねだんが安く、また輸送技術などの発達で、新せんなまま輸入できるようになりました。
- ③(4) 日本の年間の食品ロスの量は、約640万トンとされています。

31 これからの食料生産② P66・67

- ①(1)食料自給率を上げること。安全な食料をつくること。(順序はちがってもよい。)
(2)国内産食料 (3)輸入食料
- ②(1)安全性 (2)農薬
- ③(1)食料自給率が上がる。
(2)化学肥料, 農薬(順序はちがってもよい。)
(3)食料不足

ポイント

- ①(1) 食料自給率が低いと、輸入相手国が不作になった場合、輸入量が減るなどして、必要な食料を確保できなくなります。また、農薬などの安全面での心配もあります。
- ②(1) 近年、安全な農産物を求める消費者の声

が高まっています。

- ③(2) 安全性^{せいせい}を考えて、化学肥料^{ひりょう}や農薬を減らして、たい肥^ひなどで農作物のさいばいを行うことを有機^{ゆうき}さいばいといいます。
- (3) 世界の人口は増え続けており、食料生産ののびを上回っています。

32 単元のまとめ

P68・69

- ①(1)東北地方 (2)雨(降水量) (3)冷害
(4)田おこし (5)耕地整理 (6)短くなった。
- ②(1)少ない (2)近こう農業 (3)そく成さいばい
- ③(1)養しょく漁業 (2)生産量 (3)遠洋漁業
(4)200海里水域 (5)減っている
- ④(1)①食料自給率 ②減って
(2)効率的な農業

ポイント

- ①(3) 稲はもともと熱帯^{ねつたい}の植物なので、寒さに強くありません。冷害^{れいがい}をさけるために、品種改良^{しんしゆ}やさいばい技術^{ぎじゆつ}の改良など、さまざまなくふうがなされています。
- (4) この農業機械はトラクターです。トラクターは田おこしのほかに、しろかきのときにも使われます。
- ②(3) そく成さいばいは、四国^{しこく}や九州^{きゅうしゅう}の南部、伊豆半島^{いず}など、太平洋岸^{たいへいようがん}のあたたかい地方を中心に行われています。
- ③(5) 日本の漁業の生産量が減っていますが、輸入量^{ゆにりやう}も現在減っているけい向があります。このことから国内の消費量も減っていると考えられます。

33 自動車工場①

P72・73

- ①(1)プレス (2)ようせつ (3)とそう
(4)組み立て (5)検査
- ②(1)㊤→㊦→㊧→㊨ (2)ロボット
(3)流れ作業
- ③(1)㊦ プレス ㊧ ようせつ
(2)①組み立て ②流れ作業 ③作業の順番

ポイント

- ① 自動車工場ではエンジンや車体などをつくり、部品^{せんもん}を専門につくる関連工場からお

さめられたさまざまな部品を取りつけて、自動車を組み立てていきます。

- ②(2) ロボットは、複雑^{ふくざつ}な作業でもこなせるように、コンピューターによって自動化されています。
- ③(2) 自動車1台は約3万個^ごの部品でできています。組み立て工場では、自動車を組み立てる作業がいくつにも分けられ、流れ作業によって次々と部品が取り付けられていきます。

34 自動車工場②

P74・75

- ①(1)関連工場
(2)①不良品 ②決められた時間までに
- ②(1)㊦
(2)生産作業が止まらない
(3)自動車の生産台数
- ③(1)①関連工場 ②注文 (2)生産作業を止める

ポイント

- ①(1) 関連工場は協力工場ともよばれ、シートからねじ、ボルトまでさまざまな部品をつくっています。
- ②(3) 関連工場での生産は、自動車会社の生産量に応じて、調整されることとなります。
- ③(2) 関連工場は、自動車会社の組み立て工場が指定した時間までに、指定した数の部品をおさめなければなりません。

35 自動車工場③

P76・77

- ①(1)キャリアカー (2)きずがついたり
- ②(1)①(輸送用の)船 ②キャリアカー (2)㊦
- ③(1)キャリアカー (2)一度にたくさん運べる
(3)きずやいたみ

ポイント

- ①(2) 自動車は、輸送のとちゅうで、雨や鳥のふんなどでとそうした部分^{ぶん}がいたまないように、カバーがはられて運ばれます。
- ②(1) 自動車工場は、輸出に便利な沿岸部^{えんがん}のほか、内陸部の交通の便利なところにも進出しています。

36 自動車工場④

P78・79

1 ①まちがえたり、けがをしたりする

②夜中の仕事 ③少なく

2 (1)㊶ (2)健康 (3)入れかえて

3 (1)少なくする (2)㊶㊷ ㊸㊹

ポイント

1 ③ 工場内にリサイクルしせつを設けたり、環境に害をあたえる水を工場の外に出さないように、排水しよ理場でしよ理してから流すようにしています。

2 (3) 工場では分たんした作業を、流れ作業で行っているの、なれやすい反面、単純作業のくり返しになり、つらさがあります。

3 (1) 夜中の仕事は、工場で働く人に負たんが大きいので、少なくするようにしています。

37 自動車工場⑤

P80・81

1 (1)二酸化炭素 (2)エアバッグ

(3)燃料電池自動車

2 (1)エアバッグ (2)車いすに乗ったまま

(3)①水素 ②水 (4)①B ②C ③A

3 (1)交通事故(事故)

(2)①電気 ②ガソリン (3)B

ポイント

1 (2) しょうとつしても車内は安全な車体の開発や、高い者や障害のある人でも安心して乗れる「人にやさしい自動車」の開発などが進められています。

2 (1) 2000年あたりまでは、「交通事故けん数」「交通事故による死者数」は増加していましたが、それ以降は減少しています。その理由の1つに、シートベルトやエアバッグなどの安全対さくがあげられます。

3 (2) ハイブリッドカーは、ガソリンをできるだけ使わないように開発された車で、だいに普及してきました。

38 工業生産と工業地域①

P82・83

1 ①機械工業 ②金属工業 ③化学工業

④重化学工業 ⑤軽工業

2 (1)せんい工業

(2)機械工業、金属工業、化学工業(順序はちがってもよい。)

(3)機械工業 (4)①軽工業 ②重化学工業

3 (1)洗ざい、かんづめ(順序はちがってもよい。)

(2)せんい工業 (3)金属工業 (4)機械工業

ポイント

1 ④⑤ 重化学工業とは、ひか克的重いものをつくる重工業と化学工業を合わせたよび方です。軽工業はひか克的軽いものをつくる工業です。

2 (3) 自動車や船、電気製品、時計やカメラなどをつくる機械工業が、現在、最も生産額の多い工業です。

3 日本は、鉄鉱石・石油などの資源にめぐれないため、工業原料の多くを海外から輸入していることも覚えておきましょう。

39 工業生産と工業地域②

P84・85

1 (1)中小工場 (2)中小工場 (3)大工場

(4)中小工場 (5)大工場

2 (1)㊸中小工場 ㊹大工場

(2)せんい工業

(3)①工場数 ②働く人の数 ③生産額

3 (1)人手のかかる (2)減る

(3)①技術 ②製品や部品

ポイント

1 (1) 日本の工場数のうち、99%以上が中小工場、働く人が29人以下の工場が88%、30~299人の工場が11%をしめています。アメリカやドイツなどとくらべても、中小工場働く人が多いのが、日本の持ちようとなっています。

2 (3) 工場数では、全体の99%以上をしめる中小工場ですが、生産額は大工場とほぼ半分ずつである点に注意しましょう。

3 (3) いくつかの中小工場どうしが技術面などで協力したり、まとまって工業団地をつくるなどの取り組みをしているところもあります。

40 工業生産と工業地域③

P86・87

1 (1)太平洋ベルト (2)約70%

(3)船 (4)高速道路

2 (1)太平洋ベルト

(2)㊸京浜 ㊹中京 ㊺阪神 ㊻北九州

(3)高速道路

3 (1)太平洋ベルト (2)港

(3)①ねだんが高い ②航空機

ポイント

1 (1) 日本では、原料や燃料の輸入、工業製品の輸出に便利な太平洋ベルトに工業地帯・地域が集中しています。

2 (2) かつては、北九州工業地域を工業地帯として、地図中の㊸～㊻を日本の四大工業地帯としてきました。しかし近年は、生産額の小さい北九州工業地域をのぞく㊸～㊺を三大工業地帯とよぶようになりました。

3 (3) IC(集積回路)は、航空機や高速道路を使って運んでも利益が得られるため、多くのIC工場が、空港や高速道路の近くにつくられています。

41 工業生産と工業地域④

P88・89

1 (1)中京工業地帯 (2)京浜工業地帯

(3)関東内陸工業地域 (4)瀬戸内工業地域

(5)京葉工業地域

2 (1)中京工業地帯

(2)①中京工業地帯 ②京葉工業地域

(3)太平洋ベルト

3 (1)機械工業 (2)北陸工業地域

(3)①中京 ②阪神

(4)関東内陸工業地域 (5)京葉工業地域

ポイント

1 (3) 関東内陸工業地域は、過密になった京浜工業地帯から移ってきた工場や、新しくつくられた工業団地に進出してきた工場などによってできた工業地域です。自動車や電気機器の製造がさかんです。

2 (1) 中京工業地帯は、1999年に京浜工業地帯をぬいて、日本一の工業地帯になりました。

とくに自動車工業を中心とする機械工業がさかんで、生産額全体の約70%をしめています。

3 (3) 原料や燃料の輸入、製品の輸出に便利な太平洋ベルトに、三大工業地帯をはじめ、おもな工業地域が集中しています。

3 (2) 北陸工業地域は、新潟県や富山県などの日本海側の都市を中心に、金属や化学工業のほか、昔からの絹織物や化学せんいなどのせんい工業がさかんです。

42 工業生産と工業地域⑤

P90・91

1 (1)作業にかかる時間が減った。、生活が便利になった。(順序はちがってもよい。)

(2)ごみ

2 (1)時間

(2)お年寄りや目の不自由な人

(3)リサイクル

3 (1)そうじ機、せんたく機(順序はちがってもよい。)

(2)㊸に○ (3)よごれてしまった

ポイント

1 (1) いろいろな工業製品のおかげで人間の作業が楽になり、生活が便利になりました。しかし、日本の工業が急成長した1950年代後半から1970年代にかけて、空気や水がよごれるなど、各地で公害が発生し、深く大きな問題となりました。

3 (1) 米や魚は、自然にはたらきかけて生産したものです。

(2) ㊸のそうさするボタンや説明の文字が大きなせんたく機は、お年寄りや障害のある人など、だれにでも使いやすい製品です。

43 工業生産と工業地域⑥

P92・93

1 (1)船 (2)航空機 (3)鉄道 (4)自動車

2 (1)船 (2)自動車 (3)高速道路

3 (1)①航空機 ②船 (2)高速道路

(3)排出ガスやそう音

ポイント

1 (4) 自動車を使った輸送は、目的地から目的地まで運べる点が便利ですが、交通じゅう

たいなどで時間がかかってしまう場合もあります。

2(2) 自動車を使った宅配便たくはいびんが、1970年代に登場し、その後、大きく輸送量を増やしてきました。

(3) 自動車による輸送方法が多くなった理由として、全国に高速道路網こうそくどうろが整備されたことがあげられます。

3(1)② 自動車は、組み立て工場の近くの港から自動車専用の船せんように積みこまれます。

44 工業生産と貿易①

P94・95

1①プラスチック ②鉄鋼 ③綿の服 ④パン

2(1)㉠石油 ㉠機械類

(2)①アメリカ ②オーストラリア

③サウジアラビア ④中国

3(1)①鉄鉱石 ②石油(原油)

(2)㉠輸入 ㉠加工 (3)機械類

ポイント

1① 石油は、ガソリンなどの燃料ねんりょうとなるだけでなく、プラスチックや合成ゴムなど化学工業製品の原料となります。

3(1)① 鉄鉱石は、石炭・石灰石とともに鉄鋼をつくる原料になります。日本は鉄鉱石の100%、石炭の99%を輸入てっこうせきにたよっていますが、石灰石は国内で多く産出しています。

45 工業生産と貿易②

P96・97

1(1)せんい品 (2)機械類

(3)自動車 (4)2018年

2(1)㉠機械類 ㉠自動車

(2)㉠中国 ㉠韓国 ㉠アメリカ

(3)①近い地域 ②輸送

3(1)①せんい ②機械 ③中国 ④アジア

(2)㉠高く ㉠航空機 (3)アメリカ

ポイント

1(2) 日本からは、高度な技術ぎじゅつを用いた工業製品がさかんに輸出されています。

2(2) かつてはアメリカが中心でしたが、今は中国との結びつきも強まりました。

46 工業生産と貿易③

P98・99

1(1)中国 (2)中国 (3)アジア (4)機械類

2(1)アメリカ (2)中国 (3)機械類

(4)自動車 (5)機械類

3(1)㉠中国 ㉠アジア

(2)①アメリカ ②中国 ③中国

④アメリカ ⑤アメリカ

ポイント

1(3) 近年、アジアの国々との結びつきが強くなってきています。また、鉄鉱石と石炭を輸入てっこうせきしているオーストラリアとの結びつきも強くなってきています。

3(2) 輸出品と輸入品には第1位の機械類ではなく、第2位の品目に持ちようがあります。

47 工業生産と貿易④

P100・101

1(1)増えている (2)海外生産台数

(3)貿易まさつ

2(1)①国内生産台数 ②海外

(2)㉠働き先 ㉠産業

3(1)㉠売れなく ㉠相手国 ㉠自由な貿易

(2)アメリカ (3)関税 (4)貿易まさつ

ポイント

1(3) 輸出額ゆしゅつがくのほうが輸入額より多いことを、貿易黒字ぼうえきといいます。日本は、アメリカに対しては大はばな黒字が続き、このことが貿易まさつを引きおこしました。

2(2) 一方で、多くの工場が日本から海外に移転いしてしまうと、国内の工業の力がおとろえてしまうことが心配されています。

3(4) 日本から自動車の輸出しゅつが増えすぎて、アメリカの自動車産業がふるわなくなりました。

48 単元のまとめ

P102・103

1(1)部品 (2)㉠

(3)プレス→ようせつ→とそう→組み立て
→検査

(4)ロボット (5)きれいにしてから

(6)キャリアカー (7)エアバッグ

2(1)せんい工業 (2)軽工業 (3)機械工業

(4)中京工業地帯 (5)太平洋ベルト (6)港

3(1)石油(原油) (2)加工貿易 (3)中国

(4)貿易まざつ

ポイント

1(4) 自動車工場などで使われるロボットは「産業用ロボット」ともよばれます。

(7) エアバッグのほかにも、乗っている人が飛び出すのを防ぐシートベルトや、すべりやすい道路でも安全にブレーキをかけられるそうちなどのくふうがなされています。

2(4) 京浜工業地帯の特色は、印刷工業がさかんなことで、阪神工業地帯の特色は、金属工業のわりあいがある、ほかとくらべて高くなっていることです。

49 情報と社会①

P106・107

1(1)①天気予報 ②ニュース

(2)テレビ, ラジオ, 新聞(順序はちがってもよい。)

2(A)㊁ (B)㊂ (C)㊃ (D)㊄ (E)㊅ (F)㊆

3(1)①㊇ ②㊈ ③㊉ ④㊊

ポイント

3 天気の情報をふだんのくらしに役立つだけでなく、仕事のやりかたに活用している人たちもいます。たとえば花屋さんでは、気温が30度をこえると、花がいたむので、仕入れの量を減らしたりします。

50 情報と社会②

P108・109

1(1)メディア

(2)ラジオ, インターネット, ざっし, テレビ, 新聞(順序はちがってもよい。)

2(1)①-㊋ ②-㊌ ③-㊍ ④-㊎

(2)メディア

3(1)㊏ラジオ ㊐新聞 ㊑テレビ

(2)いつでも見直すことができる。

ポイント

1(1) メディアのなかでも、テレビや新聞、ラジオなどのように、多数の人々に大量の情報(じょうほう)を伝える手だんをマスメディアといえます。

2(1) ④のインターネットは、一方的に情報を

受け取るだけでなく、こちらから情報を発信することもできるという特色があります。

51 情報と社会③

P110・111

1(1)気象情報

(2)㊒気象衛星 ㊓アメダスの観測所

㊔観測レーダー

2(1)㊕㊖ ㊗㊘ ㊙㊚ ㊛㊜

(2)ラジオ

3(1)気象情報

(2)ラジオ, テレビ(順序はちがってもよい。)

(3)①㊝ ②㊞

ポイント

1(2) ㊓のアメダスとは、無人でその地域の気温+降水量(こうすいりょう)を観測するシステムです。

2(1) 天気の情報と売れる商品の関係を考えるだけでなく、雨の場合は、お客さんがぬれたゆかですべらないように、かさを入れるふくろを用意するお店もあります。

3(1) 最近の気象情報には、雨の予想を知らせる降水確率(こうすいかくりつ)のほかに、洗たく指数(洗たく物(もの)のかわきやすさ)や花粉情報(じしん)、地震(じしん)が起こったときの強さや津波(つなみ)の可能性(かのうせい)を知らせる防災情報(ぼうさい)など、さまざまなものがあります。

52 情報と社会④

P112・113

1①防災情報ネットワーク ②気象庁

③ひなん情報 ④携帯電話(スマートフォン)

2(1)㊑気象庁 ㊒緊急地震速報 ㊓防災無線

(2)①気象庁 ②速く伝える

3(1)①正しい ②わかりやすく

(2)緊急地震速報 ③防災無線

ポイント

1④ 携帯電話(けいたい電話)は便利(べんり)ですが、災害(さいがい)で通信(つうしん)しづらいことがわかれたり、多くの人がいっせいに使用したりすると通じなくなることもあります。

2(1)㊒ 緊急地震速報(きんきゅうじしんそくほう)は、地震(じしん)の発生直後に地震計(じしんけい)でとらえた観測(くわんそく)データから大きな地震(じしん)が予想(よそ)されると発表(はつぷ)される速報(そくほう)です。

1(1)放送局

- (2)①取材 ②編集, 打ち合わせ(順序はちがってもよい。) ③放送

2(1)①編集 ②打ち合わせ ③取材

- (2)①手話 ②音声

3(1)できごと (2)取材 (3)正しく

ポイント

- 1(2) 情報を集める→情報を選ぶ→情報を伝える, という大きな流れをつかんで, それぞれどんな仕事でなりたっているのかを見ていきましょう。

1①アナウンサー ②ディレクター

- ③記者 ④カメラマン

2(1)①放送 ②取材 ③編集

- (2)カメラマン (3)できるだけわかりやすく

3(1)①記者 ②ディレクター

- (2)立場 (3)バランス

ポイント

- 1 どんな仕事を受けもって, ニュースづくりにかかわっているのかを理解しましょう。
- 2(3) 放送前に, キャスターやアナウンサーは, ニュースの原稿の下読みを行い, わかりやすい表現に直したり, 読み方を確認したりしています。

1(1)ICT (2)GPS

2(1)バーコード (2)POS

- (3)①○ ②○ ③○ ④×

3(1)カーナビゲーション

- (2)GPS (3)人工衛星

ポイント

- 2(1) いろいろな商品につけられているバーコードには, 商品をつくった会社名, 商品名, 値段などの情報がうめこまれています。
- 3(1) 通称「カーナビ」とよばれます。自動車の位置情報を画面に表示するそうちです。

1(1)地図 (2)カメラ (3)便利 (4)ウェブサイト

2(1)増えている

- (2)携帯電話…1995年～2000年

インターネット…2000年～2005年

- (3)①○ ②○ ③×

3(1)売り切れや売れ残りを少なくするため。

- (2)(店の)レジ (3)売れそうな商品

ポイント

- 3(3) 店のレジから店内のコンピューターには売り上げ情報などが送られ, 本部からは売り上げをのぼすための情報が送られてきます。

1①ウェブサイト ②電子メール

- ③情報を発信 ④商品など

2(1)約9倍 (2)①携帯電話 ②SNS

- (3)A個人情報 B犯罪

3(1)インターネット (2)イ

- (3)メディアリテラシー

ポイント

- 1① ウェブサイトとは, 個人や会社などがインターネット上でさまざまな情報を公開しているものです。
- 2(2) 情報通信ネットワークの進歩にともない, インターネットが身近なものになった一方で, 情報通信ネットワークを利用した犯罪(これを特にサイバー犯罪という)が急増しています。

1(1)取材 (2)番組全体のバランスと進行。

- (3)正しく(内容が合っていれば正解です。)

- (4)①イ ②ア (5)メディア (6)㊸

2(1)いつ, 何が, いくつ売れた

- (2)仕入れ先や工場 (3)㊸

3①気象情報 ②緊急地震速報 ③GPS

- ④個人情報 ⑤ウェブサイト ⑥テレビ

ポイント

- 3⑤ インターネット上で自由に立ち上げる

ことができ、それに自由に書きこんだりできるが、どこまでが自由なのかが大きな問題になっています。

59 わたしたちの生活と環境① P128・129

1 ①土石流 ②台風 ③津波 ④こう水

2 (1) ①こう水、土石流 (順序はちがってもよい。)

(2) ①気象庁 ②砂防ダム

③防災マップ ④放水路

3 (1)地震 (2)台風 (3)ライフライン

(4)地球温暖化

ポイント

1 ③ 津波は日本語ですが、20世紀後半から国際的に「ツナミ」とよばれています。

60 わたしたちの生活と環境② P130・131

1 (1)大気のごち ②水のごち

(3)土のごち (4)地ばんちん下 (5)悪しゅう

2 (1) ①新潟水俣病、水俣病 (順序はちがってもよい。)

②イタイタイ病 ③四日市ぜんそく

(2)資源の節約になり、環境保護につながる。

3 (1)四大公害病 (2)四日市ぜんそく

(3)環境 (4)ごみから資源を集めるリサイクル

ポイント

1 1993年には公害対策基本法にかわって、環境基本法が定められ、公害だけでなく、環境に対し、よりはばひろく取り組むことになりました。

61 わたしたちの生活と環境③ P132・133

1 ①3分の2 ②水 ③減って

2 (1) ①天然林 ②人工林 (2)植林 (3)輸入木材

3 (1)土の栄養を保つ、水をたくわえる。(順序はちがってもよい。)

(2) ①天然林 ②人工林 ③林業

(3) ①こう水や土砂くずれが起こる。

ポイント

2 (1) ② すぎやひのきをよい木に育てるには、人の手でこまめに世話をすることが必要です。生長して伐採するまでに、ふつう50～60年かかります。

62 わたしたちの生活と環境④ P134・135

1 (1)減ってきている (2)酸性雨

(3)地球温暖化 (4)オゾン層 (5)さばく化

2 (1) ①地球温暖化 ②酸性雨

③オゾン層のはかい ④海のおせん

⑤さばく化

(2) ㉠ ㉡ ㉢ ㉣ ㉤ ㉥ ㉦ ㉧

3 (1)さばく化

(2) ①オゾン層のはかい ②地球温暖化

③酸性雨

(3) ①土地が水につかったり、こう水が起こる。

ポイント

2 (2) 地球温暖化によって南極などの氷がとけ、海面が上しようすると、小さな島や低地は水ぼつ危険があります。

63 わたしたちの生活と環境⑤ P136・137

1 (1)世界遺産条約 (2)自然遺産

(3)ラムサール条約

(4)ナショナルトラスト運動

2 (1) ㉠世界遺産条約 ㉡ラムサール条約

㉢ナショナルトラスト

(2)知床、白神山地、屋久島、小笠原諸島

(順序はちがってもよい。)

3 (1) ①釧路湿原 ②天神崎

(2) ①知床 ②屋久島

(3) ㉠に〇

ポイント

2 (2) 白神山地には世界最大級のぶなの原生林が残り、屋久島には樹れい1000年以上の屋久すぎの原生林が残っています。

3 (3) どれも環境保護につながるのですが、再生紙の使用は、原料の木材をむだに使わず、森林資源を守ることにつながります。

64 単元のまとめ P138・139

1 (1)水をたくわえる

土の栄養を保つ (順序はちがってもよい。)

(2)さばく化 (3)二酸化炭素 (4)世界遺産条約

2 (1)自然遺産 (2)ナショナルトラスト運動

(3)ラムサール条約 (4)白神山地

3(1)①台風 ②津波 ③土石流

(2)①放水路 ②砂防ダム ③気象庁

4(1)①四日市ぜんそく ②イタイタイ病

(2)①悪しゅう ②土のよごれ

③地ばんちん下

ポイント

1(1) 森林の土にふくまれる栄養は川を通して海に流れこみ、プランクトンや魚のえさにもなります。

65 5年生のまとめ① P140・141

1(1)アユーラシア大陸 ①大西洋

(2)①アメリカ合衆国 ②中華人民共和国

③ブラジル ④サウジアラビア

2(1)㊦経線 ㊧緯線 (2)北方領土 (3)南鳥島

(4)札幌 (5)3分の2が森林

3(1)平らな

(2)庄内平野, 横手盆地(順序はちがってもよい。)

(3)夏 (4)①みかん ②りんご

(5)沿岸漁業 (6)生産量も収入も安定する。

ポイント

2(1) 秋田市をだいたい東経140°, 北緯40°と覚えておきましょう。

3(2) 米づくりのさかんな平野は庄内平野(山形県), 越後平野(新潟県), 仙台平野(宮城県), 盆地は上川盆地(北海道), 横手盆地(秋田県)などがあります。

66 5年生のまとめ② P142・143

1(1)太平洋ベルト (2)京浜工業地帯

(3)①化学工業 ②関連工場

2(1)①加工貿易 ②重化学

(2)①ねだんが高い

②その国の産業の発展を助ける

3(1)①ラジオ ②ざっし

③インターネット ④テレビ

(2)メディア (3)わかりやすく

4(1)ナショナルトラスト運動

(2)㊦知床 ㊧白神山地 (3)四大公害病

(4)ごみから資源を集めるリサイクル

(5)ラムサール条約

ポイント

3(3) 情報を正しく, 速く, わかりやすく伝えることは, すべてのメディアに共通します。

4(1) ぼ金などを集める活動というところに注目しましょう。

ひろげよう社会書き方

ここで書かれている記じゅつは解答ではありません。例を参考にあなたの考えを書きましょう。

山の中からなぜ貝が?

P32・33

(1) 海の生物の化石が出てくるということは, その場所が大昔には, 海の底にあったということだと思う。海だった場所が, 何かの理由でもり上がったためだと思う。

(2) 南アメリカ大陸とアフリカ大陸(順序はちがってもよい。)

移動する桜前線

P70・71

(1) 3月19日, 2日ずれている。

(2) 沖縄(那覇)の冬(11~2月)の平均気温は約19℃ある。カエデは最低気温が10℃以下にならないと紅葉しないためだと思う。

工場をどこに建てる?

P104・105

1960年の地図では, 東京周辺に集まっていた自動車工場が, 2010年の地図では, 道路の広がりに合わせて, 群馬県や栃木県に移っている。工業地域の広がりには, 道路網の広がり関係しているのではないだろうか。

ITを使ったくふう

P126・127

(1) ㊦

(2) わたしの学校では, 授業の時に電子黒板を使います。わたしたちがタブレットに書きこんだことを電子黒板に読みこんで, どこがまちがっているかなど, すぐに説明してくれます。また, 担任の先生の知り合いの学校と, 電子黒板を通して話したりします。